

令和7年度

若者向け環境SDGsワークショップ

開催校募集

この事業は、J-クレジット制度を活用した「山形県民CO2削減価値創出事業」の収益還元事業として、県内の高等学校、専門学校、短期大学、大学及び大学院の生徒・学生、教員を対象に実施するものです。

過去の
開催実績校

荒砥高校・置賜農業高校・小国高校・上山明新館高校・九里学園高校・寒河江高校・酒田西高校・酒田南高校・庄内農業高校・新庄神室産業高校・新庄北高校・新庄南高校・慍山高校・高島高校・致道館高校・鶴岡北高校・鶴岡中央高校・鶴岡南高校・天童高校・東桜学館高校・東海大山形高校・長井工業高校・長井高校・村山産業高校・山形北高校・山形工業高校・山形東高校・遊佐高校・米沢工業高校・米沢興譲館高校・米沢中央高校・米沢東高校・庄内看護専門学校・農林大学校・山形大学農学部・山形調理師専門学校・山形V.カレッジ

過年度開催の
紹介動画を
ご覧頂けます

申込期間

令和7年6月20日(金)より令和7年9月30日(火)まで

お問い合わせ・申し込み

電話またはメールにてご連絡ください。
株式会社 山形テレビ「環境SDGsワークショップ」担当
TEL:023-645-1211(平日9:30-17:30) Mail:kankyo.sdgs@yts.co.jp

開催費
無料

主催

山形県
担当部署:山形県環境エネルギー部 環境企画課

企画運営



共同企画



この事業は「令和7年度若者向けカーボンニュートラルワークショップ開催等事業」として実施するものです。

日々の学習の成果を発表してみませんか？

環境SDGsアワード2025

環境SDGsアワードは、日々の学習において「カーボンニュートラル」「SDGs(環境分野)」「地球温暖化」「気候変動適応」などの環境にかかわるテーマに関連して実施した実践活動や普及啓発活動、調査・研究活動等に関する成果について発表する活動発表会です。

実施要項

参加対象者

県内の高等学校、専門学校、短期大学、大学及び大学院等の生徒・学生。
なお参加者は、複数人の生徒・学生により構成されるグループとし、活動内容が異なるものであれば、同一の学校から複数のグループが参加できるものとします。

発表内容

対象者が授業での課題研究や日々の学習において、「カーボンニュートラル」「SDGs(環境分野)」「地球温暖化」「気候変動適応」などの環境にかかわるテーマに関連して実施した実践活動や普及啓発活動、調査・研究活動等に関する成果とします。
なお、アイデアのみで実際に活動を実施していない内容は除きます。



応募方法

別途ご案内する実施要項に基づき参加エントリーを行い、成果発表資料を提出ください。
(本アワードのご案内は令和7年12月頃を予定)

選抜方法

応募多数の場合、成果発表資料を基に審査員が一次審査を実施し、発表会参加グループ(8グループ程度を予定)を選抜します。

発表会

開催日程

令和8年2月頃(3時間程度) ※予定

開催会場

山形大学 小白川キャンパス(オンライン同時開催) ※予定

審査員

主催者及び山形大学YU-SDGsタスクフォースメンバー等で構成

表彰

優秀な実践事例について、3事例程度を表彰します。
また、山形大学のSDGsポータルサイト「YU-SDGs Empower Station」の他、YTS山形テレビのホームページに掲載いたします。



本ワークショップの目的

本事業は、カーボンニュートラル、持続可能な開発目標（SDGs）、地球温暖化及び気候変動適応に関するワークショップの開催を支援することにより、「環境・経済・社会」の相互の関わりを踏まえた環境問題に対する若者等の理解を促進するとともに、環境問題の「自分ごと」化及び意識変革や率先行動につなげ、ゼロカーボン社会の実現に貢献できる人材の育成を図ることを目的とします。

本ワークショップの概要

山形県内において環境問題やSDGsに関して卓越した知見を有し、経験豊富な県内各大学の教授等の講師陣より提供されるカリキュラムの中から、開催希望校がテーマと講師を主体的に選択してワークショップを開催することができる企画です。

カリキュラムの特長

- 単なる座学ではなく、アクティブ・ラーニングの手法により能動的で深い学びを行う。（レクチャー、グループディスカッション、ゲーム体験等）
- グローバルな社会課題、環境問題とその解決策に対する科学的なアプローチを学ぶ。
- SDGsを通して、「環境」「経済」「社会」の相互の影響やバランスの重要性を認識し、多様なものの見方を知る。
- 山形の「イキモノ・ヒト・環境」を学べるオリジナルカードゲームやSDGsの基礎を楽しく学ぶ基本編のゲーム、より深くSDGsを学びイノベーションへの関心を醸成する応用編のゲームなど、体験型のコンテンツを増やし学習の幅を広げる。

開催内容

- 開催希望校が、「担当講師と学習テーマ」「構成」「開催方法」を選択できます。

- ワークショップの参加人数

1回開催当たり概ね20名以上としますが、開催校との協議の上でワークショップの構成に応じ、適切な参加人数で実施します。
（ただしゲーム体験型の開催の場合、1開催あたり40名を上限とします。）

- 開催費用

無料です。

- 実施会場

原則、開催校の校内（教室・会議室・実験室・講堂など）とします。
※校内での実施が難しい場合はご相談ください。

- ワークショップの構成

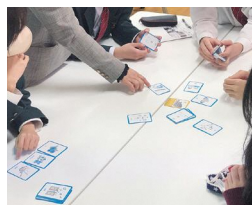
以下の3パターンより選択します。

- 講義重視型 講義+簡単なグループワーク（50分～60分の授業時間枠で実施）
- ワーク重視型 講義+グループ討議・発表（90分以上の授業時間が確保できる場合）
- ゲーム体験型 講義+SDGsゲーム体験（90分以上の授業時間が確保できる場合）

- ワークショップの開催方法

- 対面での開催 生徒・学生、講師、スタッフともに会場集合にて開催
- オンライン開催 生徒・学生は会場集合、講師とスタッフはオンライン（Zoom）で開催

※最終的な開催方法は、開催校における設備の状況等に応じて、事務局と個別の協議のうえで決定するものとします。



開講スケジュール

開催希望校は開催期間中に1回の実施を申し込みできます。
開催校の決定及び開催日程の調整は申込受付先着順となります。

■ 令和7年6月～令和8年2月

※申込受付先着順で期間中に合計15回開催します。

担当講師と学習テーマ

テーマ カーボンニュートラル／地球温暖化／気候変動適応／SDGs(環境分野)



東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科 教授

三浦 秀一 氏

対面 オンライン

工学博士・やまがた自然エネルギー代表
山形県環境審議会委員、山形県環境アドバイザー

省エネと再生可能エネルギーからカーボンニュートラルを実現するための具体的な方法を考える。学校で何ができるか、家庭で何ができるか、まちで何ができるか、探していくと、地域にはいろんな可能性があることが見えてくる。



過年度開催
紹介動画



テーマ カーボンニュートラル／SDGs(環境分野)



山形大学 理学部 理学科 教授

栗山 恭直 氏

対面 オンライン

理学博士・山形大学社会共創推進室 副室長 SDGs担当
県立高校探究活動指導

クリーンエネルギー創出やプラスチックリサイクルの実験を体験し、SDGsの視点から環境問題やカーボンニュートラルへの科学的な解決策を学ぶ。あわせて、関連する最先端の科学技術も紹介する。



過年度開催
紹介動画

テーマ カーボンニュートラル／SDGs(環境分野)



山形大学 農学部 食料生命環境学科 准教授

佐藤 智 氏

対面 オンライン

Ph.D.・プロジェクト「ヤマダイミズアブ」代表・
「ヤマダイミズアブ環境教育プログラム」開発者

なんとなく気味が悪いムシと、あえて友達になってみる。そんな挑戦から、社会のごみ問題に真っ向から向き合う。生ごみや家畜ふんを価値ある資源に変える実験を体験し、循環型の暮らしと地域経済の未来を考える。世界共通の課題「ごみ問題」から、持続可能な社会のあり方を探る。

テーマ SDGs(環境分野)



やまがたヤマネ研究会 代表

中村 夢奈 氏

対面

環境省希少野生動物種保存推進員
山形県レッドリスト等掲載種選定委員、山形県指定文化財保存実態調査員

山形の「イキモノ・ヒト・環境」を学べるオリジナルカードゲームの体験と山形県に生息する希少野生動物の「今」を学びながら、山形の実際の現場で起こっている環境の異変と人も含めた生態系に対する「これから」を考えるための課題解決と価値創造の力を養う。



過年度開催
紹介動画

テーマ SDGs(環境分野) 基本編／応用編



リコージャパン株式会社 山形支社
地域創生推進グループ

野口 恵美 氏・佐藤 亮敏 氏

対面

リコーSDGsキーパーソン山形県担当
認定CSRエキスパート

〈基本編〉SDGs基礎講話と「SDGsババ抜きゲーム」ゲームを通じてSDGsを「自分ごと」にする。
〈応用編〉「THE SDGsアクションカードゲーム・クロス」トレードオフ（両立できない関係）を解消するイノベティブなアイデアの発想体験を行う。



過年度開催
紹介動画

